

松平

但馬守源知乗八和泉守家系二男

あり美濃子生る寛永譜とくめ内通助と

いひのち内通氏小作日向守ともいふ

元和二年十一月江戸にまゐりて

台徳院殿小まゐりてたてまつりて十二月

より中奥に候へ又清小姓とあり家譜

同くして二年十二月廩米五百俵にあり

まふ同六年閏十二月從五位下に叙せし

る實永譜 東 同七年之河國本地村より武實録

五百石之地を加賜ふ實永 譜 其後病小あり

近侍乃つとめ小堪さるり實永 譜 同き

九年清免と蒙つて清書院番とあり

實永譜 家傳 後西城且勤仕し實永二年洛より

上りせ給ひに扈從一のちまゝに奉

城小まつりつふ東武 實録 同十年二月常陸

國より二百石之地を加賜ふつと保く千

二百石成知行し實永 譜 其子傳之侍乘延つるふ

とくめ内膳系宣としつるふ 家 譜 實永十

二年四月

大猷院殿と稱し同十九年六月清書院

番小つとるり慶安元年五月より進物

事と役人御日記○今の西城清小位組松平 左源次乘冬より祖より